



きみつ SDGs×環境・地域課題プログラム



君津市教育センターおすすめ特別授業



身近な地域に目を向けて、SDGs をジブンゴト化していきましょう！

猟師工房 命の授業



「きみかめ」からほど近い、旧香木原小跡地にあるジビエの利活用をすすめる猟師工房の原田祐介さんによる命の授業。君津の地域課題である農作物の鳥獣被害対策と、動物の命の大切さについてのモラルジレンマ授業をととして、この問題にどう向き合うか、自分には何ができるか、真剣に考えていきます。

【活用例】小学校：道徳、社会科5年「食料生産」「農業」

中学校：道徳、総合、社会科、キャリア教育

【学習形態】対面（猟師工房もしくは出前授業にて）

【おすすめ】きみかめの宿泊学習とセットでぜひ！

※初年度は教育センターの所員がファシリテーターとして同行しますが、2年目以降の実施はできれば各学校にお任せします。



山



海

森がグリーンカーボンと呼ばれるのに対し、海の家草・海藻はブルーカーボンと呼ばれて注目されています。千葉県沿岸部で生息するアマモなどはCO₂をたくさん吸収して地球温暖化を抑えてくれています。授業内容はまだ考案中ですので、今しばらくお待ちください。

【活用例】小学校：総合、社会科3年「市の移り変わり」4年「上総のりと近江屋甚兵衛」5年「水産業」「工業」「環境」、理科6年「生物と地球環境」

中学校：理科3年「地球の明るい未来のために」、社会科、総合、鴨青の事前環境学習として

【学習形態】オンライン、出前授業

ブルーカーボン 出前授業



「身近な地域の課題って何があるの？」と迷っていたらこの特別授業を活用してみてもいいかもしれません。裏面にかんたん4ステップが載っていますので、ご覧ください。実施まで手厚くサポートします！

まずはお気軽に教育センター田仲までご相談ください！

TEL：0439-56-1618

もしくは校支援メール



きみつ SDGs×環境・地域課題プログラム

実施までのカンタン4ステップ

STEP

1

電話・校支援メールにて連絡

気になったプログラムがあったら、まずはお気軽に、
教育センター田仲(0439-56-1618)までご連絡ください。



STEP

2

マッチング・企画助言

電話もしくはZoomでヒヤリングさせていただき、
授業内容の調整や企画助言を行います。



STEP

3

3者打ち合わせ

ここで、学校と外部講師との顔合わせを行います。
教育センター田仲も一緒に参加し、適宜アドバイスします。
内容によってはZoomでの打ち合わせも可能です。



STEP

4

学習会実施

実施にあたっての注意点などをお知らせします。
実施後、改善点などがありましたら、教えてください。

上記のステップはあくまでも基本となるもので、変更する場合があります。



猟師工房「命の授業」



猟師工房「命の授業」の基本の流れをご紹介します。

オプションで「鹿角キーホルダー作り」「ジビエ汁試食」も実施可能です。

- 学習目標：①君津市が抱える課題である、農作物の鳥獣被害について知る。
②生き物の命について考えを深める。
③猟師工房が行っている持続可能な社会のための取り組みについて知る。

所要時間	活動内容
15分 (導入)	君津市にはどんな野生動物がいるか知っているかな？ 【知る】君津市の野生動物の紹介ビデオを見て、君津には豊かな自然があり、多くの野生動物が暮らしていることを知る。 山間部に住んでいる子たちは身近なことでも、市街地に住んでいる子たちにとっては驚きかも知れません。
20分 (展開1)	生き物の命について考えよう（モラルジレンマ） 【問い】イノシシの親子はどうなってしまうのだろう？ - 箱わなにかかったイノシシの親子のビデオを見て、この親子が「その後」どうなったのか、予想して発表する。 あくまで予想なので色々な予想が出るといいですね。 【話し合い】野生動物の命をうばうのは仕方のないこと？奪うべきではない？ - 自分の意見を決めて、ホワイトボードに名前マグネットを貼る。 - 賛成、反対意見を発表し合う。 もちろん正解はありません。
20分 (展開2)	君津市や千葉県の鳥獣被害の現状を知り、もう一度考えてみよう 【知る】君津市と千葉県ではどのくらい駆除されて、どのくらい被害がある？ - 駆除数は年間約 頭、農作物の被害額は 円。 - 被害を受けた農家のインタビュービデオを見る。 【知る】駆除された野生動物の行き先は？ - ほとんどが山で穴をほって廃棄されてしまう。 【話し合い】野生動物の命をうばうのは仕方のないこと？それとも奪うべきではない？ ここでもう一度考えてみよう。
15分 (まとめ)	猟師工房の持続可能な取り組みを紹介 【知る】猟師工房が行っている持続可能な取り組みを知り、鳥獣被害についての課題や、SDGs について考えを深める。 - 農作物の被害を減らすために - 捨てられている動物をむだにしない - 今までにない新たなアイデアを生み出したい 人間と動物が共存する未来は築けるのでしょうか。

教科横断的な活用について



単発の授業として実施してももちろん良いですが、できれば教科横断的な単元構成の中で実施すると、より効果的です。例として、小学校5年生での関連する教科・単元を挙げてみました。どのステップで、どの教科・単元とつなげて「命の授業」を活用するのか。1つだけにしぼるのか、複数とつなげるのか。正解はありません。何に重点を置くのかによっても、変わってくるはずです。

「命の授業」とどうつなげる？の欄は、ぜひ考えてみてください。

ステップ	教科	関連する単元・内容	「命の授業」とどうつなげる？
【知る】 自然環境の 現状に目を 向ける	社会	『くらしを支える食料生産』 『米作りのさかんな地域』 『水産業のさかんな地域』 『これからの食料生産とわたしたち』	
	道徳	『海を耕す人たち』【自然愛護】 自然と共存するために努力する人たちが いることを知る。	
	道徳	『自然を守るエゾリス』【自然愛護・生命の 尊さ】動植物が共生の関係にあることを知 り、自然を大切にしようとする。	
	総合	『君津亀山少年自然の家での体験活動』 【自然愛護】 君津の自然に触れ、自然とふりさとを愛す る心を育てる。	
【深める】 地域課題に ついて考え を深める	国語	『AI とのくらし』 ミニディベートを行う。	
【発信する】 自分に何が できるか発 信する	国語	『世界遺産 白神山地からの提言』 白神山地の自然に関する様々な角度から の資料を読み、自分なりの考えを意見文に まとめる。	